

1. 授業の概要(ねらい)

- ・第4次産業革命と呼ばれる社会の大変革が起こっています。ビッグデータを吸収し編集して答えを出すAIの進化やIoTによる社会の変化はそのスピードを増しています。この授業では、流通経済の現場で今、何が起きているのか、起ころうとしているのか、ともに研究し学んでゆきます。流通産業をはじめとして各産業や企業の活動を研究して【企業】を見る目を培います。
- ・どの時代にも経済活動の主役は我われ「生身の人間」です。伝統的な経済学とともに不可解な「生身の人間」が行なう経済活動のメカニズムを知り、実社会で役立つ「行動経済学」を学んでゆきます。（「行動経済学」はもちろん「経済学」ですが、「ひと」や「自分」を知ることに関与する「しあわせの経済学」です。）
- ・また現場で実際に起こっている事例を研究して実践型「マーケティング」を学修してゆきます。

2. 授業の到達目標

- ・社会や私たちの生活のなかで日々行なわれている経済活動を感じ取り、観察して、その背景や流通機能の側面、心理的なメカニズムなどの理解ができるちからを身につける。
- ・質の異なる複数の情報や課題を整理しまとめ、優先順位をつけて解決の道のりを計画するちからを身につける。
- ・流通産業の実社会で戦力となるよう基本的な知識をバランスよく身につけたい。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業への積極的な参加を重視します。
- ・個人でそれぞれに具体的なテーマ(商品・サービス・企業など)を決め研究をリポートしてください。研究への踏み込みと他者への説得力を評価します。
- ・研究成果のプレゼンテーション(任意)については評価に加算します。
- ・企業での実務を想定した授業での発信力・姿勢は重視してゆきます。

4. 教科書・参考文献

教科書

参考資料は極力、配布します。

テキストについては、個別のテーマ等に応じてアドバイスしてゆきます。

5. 準備学修の内容

- ・授業のテーマに関連する直近のニュースやキーワードについてレクチャーやディスカッションをしてゆきます。
- 極力関連する情報を得て自分の考えとして発信できるようにすること。

6. その他履修上の注意事項

- ・各回の授業内容は仮の計画であり、状況を勘案し、修正する可能性があります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 【第1回】 | 前期の振り返り、この授業についての再確認 |
| 【第2回】 | 流通業の社会的役割と機能・日本の流通産業の特徴 |
| 【第3回】 | E-コマース(ネット流通)とラストワンマイル問題・ロジスティクス |
| 【第4回】 | SCM(サプライ・チェーン・マネジメント)と情報システムの進歩 |
| 【第5回】 | 日経「体温計」の見方・読み方 |
| 【第6回】 | 売買契約と決済・フィンテック・ブロックチェーンとビットコイン |
| 【第7回】 | 今後(来年以降)の流通マーケットトレンドを予測する |
| 【第8回】 | 行動経済学とゲーム理論について |
| 【第9回】 | 企業研究講義① |
| 【第10回】 | 企業研究講義② |
| 【第11回】 | 企業・業界研究プレゼンテーション① |
| 【第12回】 | 企業・業界研究プレゼンテーション② |
| 【第13回】 | 企業・業界研究プレゼンテーション③ |
| 【第14回】 | 企業・業界研究プレゼンテーション④ |
| 【第15回】 | 授業まとめ、総括 |